

斜面工学研究小委員会第1回委員会議事録

日時：平成27年10月30日（月）15:00～17:30

場所：土木学会F会議室

出席者（敬称略，順不同）：鈴木、中村、花本、ハスバートル、西川、樋口、藤本、北爪、原、茂木、平岡、今井、片山、伊藤、櫻井、上野、岩佐、藤井、吉川、荒木、美馬

報告事項

1. 本委員会の趣旨

委員会に先立って鈴木委員長から挨拶があり、本小委員会が立ち上がった経緯やこれまでの活動についての説明と本小委員会の活動方針に関して説明がなされた。

2. 委員自己紹介

各委員より、自己紹介がなされた。

3. 熊本地震被害調査報告書

荒木委員より、熊本地震被害調査報告書の作業状況として、年内発行を目指している旨の報告がなされた。

4. 2017九州北部豪雨斜面災害現地調査

鈴木委員長より、平成27年7月22～23日に行われた、九州北部豪雨斜面災害調査の調査結果について報告がなされた。

5. 2017全国大会研究討論会「複合的自然災害～」

鈴木委員長、今井委員より、平成27年9月11日に行われた全国大会研究討論会の「複合的自然災害に関する工学的視点からみた地域防災の有り方」の活動報告がなされた。

複合的自然災害とは、2つの自然災害が生じたとき、その被害は単独災害の単純和でなく、2つ目の自然災害によって被害は拡大するものである。熊本地震では、噴火、地震、土石流、大雨による複合的災害であったと言える。等の意見があった。

6. 地盤工学委員会からの連絡事項

鈴木委員長より、セミナーの紹介があった。

名称：地盤工学セミナー「建設工事における発生土の利用と自然由来重金属等の問題」

日時：1/12（金）13～17時

場所：土木学会講堂

定員：100名

審議事項

1. 副委員長・幹事長・幹事の選出

今期の役員として、以下の者が選出された。

副委員長：藤井委員、吉川委員

幹事長：美馬委員

幹事：荒木委員

2. H29 重点研究課題（熊本地震関連）

鈴木委員長より、H29 年度重点研究課題「2016 年熊本地震における社会基盤・システム被害の詳細調査と検証」の説明がなされた。

長岡技科大の池田教授を委員長として、6/2 立ち上げられた。来年 2 月頃に報告書を仕上げ、30 年度の全国大会の研究討論会を開催する予定である。

それに伴い、熊本地震から 1 年半経過した後の復旧状況を見るため、11 月後半～12 月前半に現地視察を行う。参加者を後日募ることとなった。

3. 防災展

藤井副委員長より、防災展 2018 の説明があった。今年も積極的に参加し、一般の人に土砂災害について理解を深めてもらう。参加者を後日募ることとなった。

名称：防災展 2018

日付：2018/3/8～9

場所：新宿駅西口

主催：東京都

内容：土砂災害について模型を使って説明

過去の防災展において、展示ブースへの来訪者から「土砂災害のことが分かった」、「自宅の裏山は大丈夫か」といった意見、質問が多くあり、参加する意義が大きいという意見があった。

4. 防災学習本「実験で学ぶ土砂災害」の販売促進

藤井副委員長より、防災学習本の販売状況について説明がなされた。

目標 3000 部に対して現在 1500 部である。2017/5/20 に各県・政令指定都市の道路課、河川砂防課、治山課にダイレクトメールをお送りした所、何冊かの注文があった。学校の図書館に販促したところ、推薦図書でないと採用しにくいとの意見があった。防災学習本の特徴は、①一般の人にも伝わりやすい内容になっている。②学習本の中にあるQRコードから模型実験のHPに繋がり模型実験の動画、模型の作り方が見られる。等の説明がなされた。引き続き、各委員に販促促進に協力を求めた。

5. 斜面工学研究小委員会HP

鈴木委員長より、ホームページの内容として、委員会の議事録、図書の出版状況、災害調査等の報告書が掲載されている説明がなされた。

新委員のリストを掲載することについて、委員からの異論はなかった。

鈴木委員長より、HPに掲載する場合は著作権に留意するように指示があった。

美馬幹事長より、本部のHP更新時に本委員会のHPが閲覧できないときがあるとの報告があった。

6. 今期の行事企画・事業

吉川副委員長より、今後の取り組みについて説明があった。これまで実施してきた災害調査、研究討論会、図書出版、防災展参加等は継続して行い、この他にも取り組む機会があれば、改めて議論していくこととなった。

中村委員より、新しいテーマとして災害心理学、防災心理学の提案があった。例えば、川の近くに住んでいる人、裏山の近くに住んでいる人はどういうときに逃げるのか、前日から被災することがわかっているならば高齢者も準備できる、このような問題に着目した研究について提案があった。

各委員より、行政サイドの問題として避難勧告のタイミングが悪い、これまでに被災していないからベテランバイアスが働く、空き家が増えているのに宅地開発が増えている、防災学習会等は市町村任せられているがマンパワーが足りない、自治体の枠を超えて逃げる範囲（単位）を見直さないといけない、防災訓練に参加すると景品がもらえる、保険が優遇される等の避難者を優遇する措置があると良い、等の意見があった。

鈴木委員長より、次の図書の出版として、これまでは一般市民向けだったので、専門家向けにしてはどうかとの提案があった。このほか、災害調査や地質巡検等により、技術交流、技術伝承を行っていくことが望ましいとの提案があった。

7. 委員会年間開催スケジュール

鈴木委員長より、本委員会は7、10、1、4月を予定している旨の報告があった。

8. 話題提供者リスト作成

鈴木委員長より、各委員に話題提供の協力を求めた。

9. 次回の委員会開催日

第2回委員会 1月11または1月19日予定

以上